

災害時個別避難計画

氏 名 _____ さん 男 ・ 女

住 所 _____
(地区名 _____)

電話番号（続柄） _____

家で過ごす場所 日中： _____

夜間： _____

避難済の目印 _____

- 自宅付近のハザードマップ ☐該当なし
- 洪水による浸水の深さ ☐0.5m 未満
☐0.5～3.0m 未満
☐3.0～5.0m 未満
☐5.0～10.0m 未満
☐10.0m以上
- ☐土砂災害警戒区域または特別警戒区域
☐氾濫流による家屋崩壊等
☐河岸浸食による家屋倒壊等

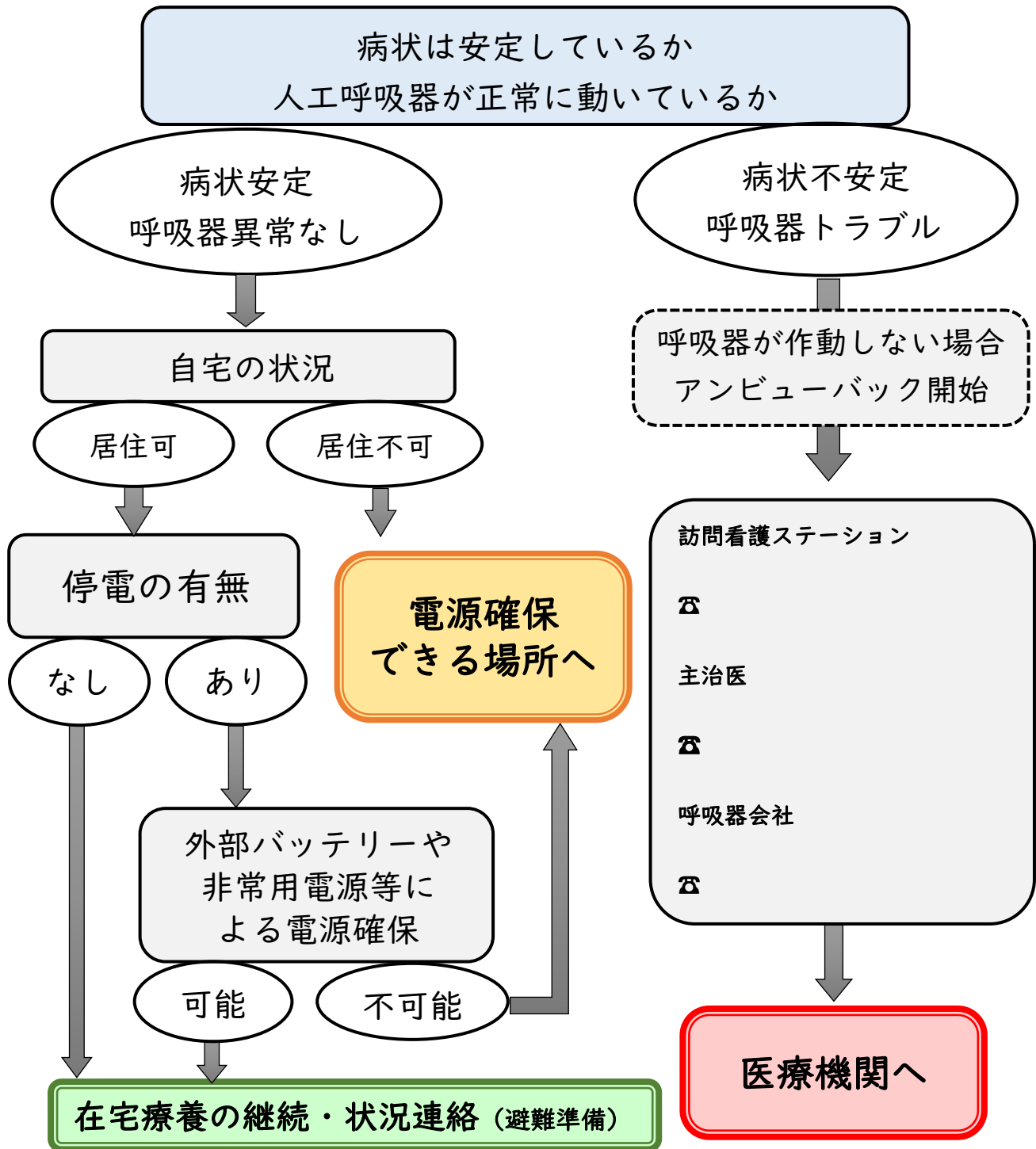
- 中部電力への登録 ☐しない ☐未 ☐済 → 年 月 登録
(電気の契約が中部電力ミライズでなくても登録可能。中部電力パワーグリッドに登録すると、
復旧の目途等の連絡が来ます。)

■平常時の情報提供先

- ☐ 避難支援者のみ
☐ ささえあいマップ作成まで（町会内、市社会福祉協議会）
☐ なるべく多くの避難支援等関係者へ

■作成日 _____ 年 _____ 月 ■作成区分 ☐新規作成 ☐更新
■作成者 事業所名： _____
連絡先： _____
氏名： _____

災害発生時の行動（目安）



避難先等 ※避難経路を記載した地図を p7 へ添付

- ☐ 公共施設等 _____
- ☐ 非常用電源設備のある施設 _____
- ☐ その他（親戚・友人宅） _____

安否確認方法

① 安否確認する機関・担当者 _____ ☎ _____ ② 本人・家族との安否確認方法 _____	 	③ 市担当部署 _____ ☎ _____ ④ 安否確認機関と市担当部署との連絡方法 _____
---	------	---

関係者・機関（連絡先）

安否確認する人 (○)	災害伝言板登録 (○)	続柄・区分など	氏名	住所	電話番号・メール等
		家族			
		近隣者			
		民生委員			
		主治医			
		かかりつけ医			
		かかりつけ薬局			
		訪問看護師			
		相談支援専門員			
		事業所			
		保育園・学校等			

緊急時の医療情報連絡票

記入日： 年 月 日

氏名（かな）			男性 ・ 女性
生年月日	昭和 ・ 平成 ・ 令和 年 月 日（ 歳）		
住所			
緊急連絡先	氏名（かな）		続柄
	連 絡 先		
診断名			
既往歴 合併症等			
人工呼吸器	機種名		
	換気モード	☐ 量規定（VCV） ☐ 圧規定（PCV）	
	詳細設定	離脱 ☐ 可（ 分） ☐ 不可	
気管切開	カニューレサイズ（ ） カフエア（ ）ml		
	喉頭気管分離 ☐ なし ☐ あり		
酸素	☐ なし ☐ あり（ ）L/分		
喀痰吸引	☐ あり（チューブ・回数： Fr 回/日 ） ☐ なし		
栄養	☐ 経口 （ ）回/日 食事形態（ ）		
	☐ 経鼻 ☐ 胃ろう ☐ IVH ☐ 他（ ） 栄養剤名（ ） 総カロリー（ kcal 回/日 ）		
排泄	☐ オムツ ☐ 尿器等 ☐ 膀胱ろう ☐ 他（ ）		
	☐ 導尿 ： カテーテル（ Fr/ cc/ cm）		
介助・介護	☐ 移動（方法： ） ☐ 食事 ☐ 排泄 ☐ 服薬		
	☐ コミュニケーション（方法： ） ☐ その他（ ）		
主治医	医療機関名： 医 師 名： 連 絡 先：		
特記事項			

1 呼吸・吸引関連機器の作動時間

●人工呼吸器（本体と外部のバッテリー時間）

※バッテリーには耐用年数があります。
作動時間は定期的に確認しましょう。

【内部（本体）バッテリー作動時間】 + 【外部バッテリー作動時間】 = 合計

$$\left(\underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間} \right) + \left(\underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間} \times \underline{\hspace{2cm}} \text{ 個} = \underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間} \right) = \underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間}$$

●酸素濃縮装置（本体と酸素ボンベの時間）

【内部（本体）バッテリー作動時間】 + 【外部バッテリー作動時間】 = 合計

$$\left(\underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間} \right) + \left(\underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間} \times \underline{\hspace{2cm}} \text{ 個} = \underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間} \right) = \underline{\hspace{2cm}} \text{ 時間}$$

●吸引器 充電付き吸引器の連続作動時間

 分

足踏み式吸引器等、電源を用いない吸引器も準備しましょう。

2 非常用電源

● 発電機 A

● 車のシガーソケット・ケーブル A

● 蓄電池など A

万が一に備えて使用する機器のアンペア（A）数を
調べておきましょう。

発電機などは正弦波インバーター搭載かどうか確認
し、医療機器との接続について、主治医や医療機器
販売業者等と相談しておきましょう

3 医療機器の使用アンペア（A）

● 人工呼吸器 A

● バッテリー ・ バッテリーの充電器など A

● 吸引器 A （ほとんどの吸引器は起動時に使用アンペアが大きくなる）

4 蘇生バッグ

☐ 手の届く定位置に置く

☐ 定期的に使用訓練を行う

災害用備蓄リスト

品 目		備 蓄 数	避難時持出数	置き場所など
呼吸 関 連	人工呼吸器		☐	
	蘇 生 バ ッ グ		☐	
	外部バッテリー		☐	
	予備呼吸器回路		☐	
	予備気管カニューレ		☐	
	加温加湿器		☐	
	パルスオキシメーター		☐	
	酸 素 ボ ン ベ		☐	
吸 引 関 連	バッテリーなし		☐	
	吸引器	バッテリーあり	☐	
		非電源式	☐	
	吸引チューブ		☐	
衛 生 材 料	手 袋		☐	
	アルコール綿		☐	
	蒸留水／精製水		☐	
	注射器		☐	
	マスク		☐	
栄 養	経腸栄養剤（ ）		☐	
	イルリガートル		☐	
	接 続 チ ュ ー ブ 、注射器		☐	
	経鼻経管栄養チューブ等		☐	
薬	常 備 薬		☐	
	頓 服（ ）		☐	
排泄	オ ム ツ		☐	
	膀胱留置カテーテル等		☐	
意思 伝達	文 字 盤 など		☐	
			☐	
非常用 電源等	発 電 機 使用燃料（ ）		☐	
	蓄 電 池		☐	
	乾 電 池		☐	
	延長コード （三又プラグ）		☐	
	シガーソケット・ケーブル		☐	
そ の 他	懐中電灯		☐	
	情報機器（ラジオやスマートフォンなど）		☐	
	ビニール袋、ティッシュペーパー		☐	

避難経路（地図）

○ハザードマップで避難経路を確認し、危険個所を把握しておきましょう。

【避難先①】

場所：

避難手段：

【避難先②】

場所：

避難手段：

録音時

災害用伝言ダイヤル使用方法

ダイヤル 171

「こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する録音は3、暗証番号を利用する再生は4をダイヤルして下さい。」

ダイヤル 1

「被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。

被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。」

ダイヤル

「電話番号 ↑ の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の1を押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。」

ダイヤル 1

「伝言をお預かりします。ピッという音のあとに30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら数字の9を押して下さい。」

録音する内容

本人の氏名
本人および介助者の安否と身体状態
自宅の被災状況
電源確保の状況
避難の要否
サポートの要否

ダイヤル 9

注意:1つの電話番号に対し最大20件までしか録音できません。録音する場合は必要最低限にとどめてください。

再生時

災害用伝言ダイヤル使用方法

ダイヤル 171

「こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する録音は3、暗証番号を利用する再生は4をダイヤルして下さい。」

ダイヤル 2

「被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。

被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。」

ダイヤル

「電話番号 ↑ の伝言をお伝えします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の1を押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。」

ダイヤル 1

「新しい伝言からお伝えします。伝言を繰り返すときは数字の8を、次の伝言に移るときは数字の9を押して下さい。」

伝言の再生

「この伝言は○日午前／午後○時○分におあずかりしました。」

「伝言を追加して録音されるときは数字の3を押して下さい。」

追加して録音する時は ダイヤル 3